

わごころ通信

発行日：令和7年10月1日
発行元：尾鷲市社会福祉協議会
尾鷲市栄町5-5 Tel.22-3246
HP：<http://www.owasewel.com>
E-mail：info@owasewel.com

『わごころ通信』は、地域全体で生活を支える地域包括ケアの深化に向け、生活支援の体制をどのように整えていくか、この地域の取り組み状況や取り組み内容を生活支援コーディネーターの活動と併せて紹介しています。第13号では、この地域のささえ合いについて考える『わごころ会議』についてお伝えさせていただきます。

わごころ会議 で



『ささえ合いによる移動支援』
について話し合っています！

尾鷲社協では、暮らしの中の様々な困りごとについて、有志の方たちを募り、“どんな困りごとがあるのか”、“どんなことならできるのか”ということについて話し合い、考える場として、わごころ会議を開催しています。これまで、ゴミ出しや買い物の困りごとについて話し合い、そこから住民参加型生活応援事業『助っと』のしくみが発足し、実際に困っている人と、「何かしてあげたい！」というボランティアさんがつながるお手伝いをしています。最近のわごころ会議では、『ささえ合いによる移動支援』をテーマとして、この尾鷲市の大きな地域課題といえる移動手段について協議しています。

移動支援についての協議では、ボランティアによる移送の法律上の位置づけを勉強したり、全国の取り組み事例を見ながらこの地域の実情と照らし合わせて考えたりしました。参加者の皆さんからは、普段から感じている移動の困りごとや地域の状況、実際に移動支援をするとしてどんな課題があるのかなど、様々なご意見や思いを聞かせていただきました。なかなかすぐに結論が出ない課題ということもあり、これからも話し合いを続けていきたいと思います！

移動支援
協議中！



地域のささえ合い協議に参加しませんか？



わごころ会議は、生活支援ボランティア養成講座「わがらの町の暮らししささえ合い塾」を受講された方を中心に、地域でのささえ合い・助け合いのしくみに関心を持っている方や実際に何か活動をされている方などに声をかけ、「わがらのまちの暮らししささえ合い塾」で学んだことや気づいたこと、やりたいと思ったことを、同じようにやる気を持った方との仲間づくりをしながら、実際の取り組みに繋げるためにどんな風にすればいいかを考え、実際の活動に繋げるためのプラットフォームとして位置付けています。「自分も何かできることをやりたい」、「こんなことならできそう」という気持ちを後押しして、この地域の実情に即したささえ合いの形を模索しています。

また、これから地域のささえ合いを考えていくうえで、たくさんのご協力やご意見が必要になってくると考えます。「わがらの町の暮らししささえ合い塾」に参加されていない方でも、地域で暮らしていくためのささえ合いに関心をお持ちの方や、「自分にも何かできることができれば」という思いをお持ちの方も、協議に参加し、ご意見をいただければと思います！

ぜひ一度お問合せ下さい！



わごころ会議への参加をご希望の方はご連絡ください。

担当：総務・地域福祉係 内山

☎ 22-3246

生活支援プラットフォーム “わごころ会議”

ささえ合いの協議に
関心をお持ちの方



わがらの町の
暮らし支え合い塾



わごころ会議



地域活動

・・・わごころ通信に関するお問合せは・・・

担当：尾鷲市社会福祉協議会 総務・地域福祉係 Tel22-3246 まで